

松仁会医学誌投稿規定

- 1) 投稿論文は他誌に発表または投稿中でないものとし、発表者は原則として松仁会会員に限るが、会員である所属長の推薦と編集委員会の承認を得た場合は、非会員の論文も掲載する。その際、所属長または責任著者が当該論文に関し責任をもって投稿しなければならない。また、掲載の採否は編集委員会の審査により決定するものとし、審査は査読制を採用する。
- 2) 投稿論文の種類は、総説(依頼)、原著、経験、症例報告、その他とする。
- 3) 投稿に際しては、文部科学省・厚生労働省より施行された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守することとし、特に個人情報については、患者個人が特定できないように十分な倫理的配慮を行なうこととする。
- 4) 利益相反については、「松仁会医学誌 自己申告によるCOI報告書」を用いて、投稿時に共著者を含め開示しなければならない。
- 5) 論文は原則としてword原稿で提出する。論文の文字数は8,000字以内とし、「常用漢字」、「現代かなづかい」を用いる。原稿はA4の普通紙に横書きに印字する。原稿をパソコン記憶媒体にデータとして保存し、ラベルに使用したパソコン機種・ソフト名・ファイル名を明記したものを併せて提出する。記憶媒体は、CD-RW・CD-Rとする。
- 6) 論文は(1)表題、著者名、所属、(2)要旨、(3)キーワード、(4)本文、(5)引用文献、(6)図、表とその説明、(7)英文抄録および英文キーワードで構成する。
- 7) 表題はできるだけ簡潔に書く。やむを得ず題名が20字を越えるときは、20字以内の省略題名を書き添える。
- 8) 要旨は600字以内とする。
- 9) キーワードは5つ以内とする。医学中央雑誌医学用語シソーラス、Index MedicusのMedical Subject Headingsなどを参照する。
- 10) 図、表の掲載は、合わせて10枚以内とする。図、表は、鮮明なものを添付する。パソコンで作成した図、表は記憶媒体にコピーし提出する。この場合、非圧縮画像が望ましい。写真は図に準じて取り扱う。
図、表の挿入箇所は、本文右欄余白のおおよその当該箇所に赤字で「図1」、「表2」のように明記する。図、写真は原則として白黒とする。ただし、編集委員会の承認を得ればカラー印刷することができる。
- 11) 引用文献は原則として最小限必要なもの20件以内とする。引用文献は本文中に出てきた順に番号をつけて記載する。文献の著者名は3名まで記し、そのほかは「他」、「et al」と省略する。雑誌の略名はIndex Medicus および医学中央雑誌の収録雑誌略名表の表記法に従う。
- 12) 文献の記載は次のようにする。
 - ① 雑誌の場合
著者名、論文題名、雑誌名、発行年(西暦);巻:最初頁-最終頁。
(例)Whitaker RC, Wright JA, Pepe MS et al. Predicting obesity in young adulthood from childhood and parental obesity. N Engl J Med 1997; 337: 869-873.
(例)富岡真一郎, 井上雅樹, 大津 格, 他. 肺気腫の運動能力に関わる諸因子の検討. 日胸疾会誌 1997; 35: 739-745.
 - ② 単行本の場合
著者名:書名. 版数. 発行地:発行書店;発行年(西暦). p.最初頁-最終頁。
(例)渡辺 決:泌尿器科治療ハンドブック. 第1版. 東京:南山堂;1989. p.61-64.
 - ③ 単行本でも編著の1章を引用したときはその章の執筆者を文献欄に掲げる。
著者名:論文題名. 編者名. 書名. 版数. 発行地:発行書店;発行年(西暦) p.最初頁-最終頁。
(例)太田宗夫:救急医学と災害医学. 坪井栄孝, 他編. 災害医療ガイドブック. 第1版. 東京:医学書院:1996. p.184-187.
(例)Huttenlocher PR: Cerebral palsy. Ed by Behrman RE et al. Textbook of Pediatrics. 18th Ed. Philadelphia: Saunders: 1995. p.1570-1572.
- 13) 英文抄録は英文の題名・著者名・所属と、主要な結果と結論を100語以上500語以内の英語にまとめて半角英数で印書する。
- 14) 本誌に掲載された論文の著作権は本編集委員会に帰属する。

松仁会医学誌 自己申告によるCOI報告書

論文題名： _____

(著者全員について、投稿時から遡って過去2年間以内での発表内容に係る企業または団体とのCOI状態を記載)

項 目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
① 企業、NPO、その他法人の職員、代表、顧問職	有・無	
② 株式の利益 発表と関連のある企業株の利益が年間100万円を超える場合、あるいは全株式の5%以上を保有する場合	有・無	
③ 講演料 発表と関連のある企業・団体から年間合計50万円以上の収入がある場合	有・無	
④ 原稿料 発表と関連のある企業・団体から年間合計50万円以上の収入がある場合	有・無	
⑤ 委託研究費・助成金などの総額 発表と関連のある企業・団体からの研究経費で年間総額が200万円以上の場合(公的資金は除く)	有・無	
⑥ 寄付金 発表と関連のある企業・団体からの寄付金で年間総額が200万円以上の場合	有・無	
⑦ 専門的助言 発表と関連のある企業・団体からの収入で年間100万円以上の場合	有・無	
⑧ 旅費、贈答品などの受領、その他 発表と関連のある企業・団体から年間5万円以上の受領がある場合、上記以外の事項で利益相反が懸念される場合	有・無	

(本COI申告書は論文掲載後2年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

(自筆署名) _____